

科目名 【英】	保健体育 Health and Physical Education			必修/選択	必修	授業形式	演習
				総時間数	30	単位	1
学年	3年	学期	前期	曜日	木曜日	時限	3限

担当教員	浅田 雅之	実務者経験	1988年日本体育大学卒業保健体育科の教員資格取得 1992年アサダ接骨院・鍼灸院開業、2008年ティサービス開業
------	-------	-------	--

学習内容	鍼灸師としてスポーツの現場でも活躍できるような知識、技術を学ぶ。
到達目標	アスレチックトレーナーとしての心得を理解し、スポーツ現場で慌てず的確な応急処置(RICEやテーピング)が行え、世界で戦うトップアスリートからスポーツ愛好家までトレーニング指導やストレッチング、スポーツマッサージなどのコンディショニングからアフターケアまでトータルにボディケアの基礎を習得していく。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料
留意点 備考	毎週レポートの提出、採点し平常点とする。試験がいくらできて授業態度の悪い学生は再試験。 再試験評価：再試験50%平常点40%出席点10%

成績評価	本試験70% 平常点30%
------	---------------

前期 授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今年どのような授業をしていくのか？ ■ 自己紹介（自己アピール） ■ アスレチックトレーナーの現状、活動報告
2	コーディネーション トレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 神経系の発達を促すトレーニングの基礎から実践 ■ 運動神経はどのようにすればよくなるのか？
3	アイシング	<ul style="list-style-type: none"> ■ アイシングとは？ ■ アイシングのやり方？ ■ いつまで冷やすのか？ ■ いつから温めるのか？
4	SAQトレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ■ SAQとは？ ラダー、ミニハードル、リアクションボールなどを用いて理論と実技
5	SAQトレーニング	<ul style="list-style-type: none"> ■ バランスボード、バランスパッドボランスポールなどを用いて理論と実技
6	ホスピタリティ 接客サービス	<ul style="list-style-type: none"> ■ アスレチックトレーナー（鍼灸師）の心得、マナー ■ CS（カスタマーサティスファクション）
7	臨床スポーツ医学	<ul style="list-style-type: none"> ■ 代表的なスポーツ障害・外傷について ■ ラップ療法について
8	テーピング	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホワイトテーピングの切り方、貼り方、はがし方 ■ 足関節のホワイトテーピングの1例実技
9	テーピング	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホワイトテーピングの足関節、指関節のテーピング実技 ■ キネシオテーピングの足関節、指関節のテーピング実技
10	ストレッチング	<ul style="list-style-type: none"> ■ 腰痛のストレッチング、肩こりのストレッチング (スタティック、バリスティック、ストレッチポール)
11	スポーツマッサージ	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツマッサージからリンパマッサージの理論と実技
12	スポーツ栄養学	<ul style="list-style-type: none"> ■ 試合前には、どんなものを摂取すればよいのか？ カーボローディングなどの食事の方法
13	トレーニング実技	<ul style="list-style-type: none"> ■ フットサルコートを利用してサッカーの練習とゲーム
14	テスト	<ul style="list-style-type: none"> ■ 足関節ホワイトテーピングのテスト
15	テスト	<ul style="list-style-type: none"> ■ 足関節ホワイトテーピングのテスト
16	スポーツ鍼灸実技	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツ鍼実技 (パルス通電で鍼の角度や深さ体感する)

科目名 【英】	経営マネジメント Office Management			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	30	単 位	2
学 年	3年	学 期	後期	曜 日	金曜日	時 限	1限

担当教員	柳野 隆生	実務者経験	~1970年 弁理士試験合格・関西大学法学部卒 1970年~1975年 大手化学会社・知財法務事務所勤務 1975年~国際知財法務事務所を開設し、知財法務・研究開発・ベンチャービジネス育成とトップ育成を融合した業務を行う。
------	-------	-------	---

学習内容	開業に向け、必要な知識を学ぶ。
到達目標	将来に向けて、自己のビジネスプランを作成する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】なし 【配布資料】あり
留意点 考	成績評価はビジネスプランの100点評価でおこなう。

成績評価	本試験100%
------	---------

後期 授業計画【内容・目標】		
1	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成①	独自性、ベンチャー、知の高度化、バイタリティ、専門化、知の連鎖、工夫・改善・開発等の要素の意味の学習
2	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成②	ビジネスプラン作成方法について
3	参考になる他の業界の動き、ベンチャービジネスから学ぶ①	国内外のベンチャービジネスの事例。オンリーワン志向となる病院では？ベンチマーク、複合技術等
4	参考になる他の業界の動き、ベンチャービジネスから学ぶ②	まとめ
5	特徴ある技術を持つには？①	多くの事例から特徴ある技術を学ぶ 自分の特許技術を持つにはどうするか
6	特徴ある技術を持つには？②	まとめ
7	特徴あるビジネスモデルを持つには①	マーケティング、CRM、アライアンス等で自己のビジネスモデルをどう作るか
8	特徴あるビジネスモデルを持つには②	他のビジネスモデルの事例から学ぶ ビジネスプランの提出
9	できる・できないあなたが変われば院も変わる	信頼される接遇のイロハ①
10	できる・できないあなたが変われば院も変わる	信頼される接遇のイロハ②
11	成功する治療院経営①	これからの治療院経営どこで差をつける①
12	成功する治療院経営②	これからの治療院経営どこで差をつける②
13	成功する治療院経営③	これからの治療院経営どこで差をつける③
14	ビジネスプランの発表と講評	
15	後期テスト	
16	復習	

科目名 【英】	臨床医学各論③ Clinical Medicine Part			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	30	単位	2
学年	3年	学期	前期	曜日	金曜日	時限	1限

担当教員	後藤 卓	実務者経験	2001年4月～2003年3月 鍼灸院に所属 鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう
------	------	-------	--

学習内容	臨床医学各論は各疾患の症状や検査などについて学ぶもので解剖学や生理学の基礎を基に各疾患について深く講義していく。
到達目標	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念、疫学、病因、病態生理、症状、診断、治療などを理解し、臨床の場において実際に活用できるレベル、かつ国家試験に対応できるレベルまでを学ぶことを目標とする。

準備学習 時間外学習	1年次、2年次に学んだ解剖学・生理学の復習
使用教材	【教科書】臨床医学各論 【配布資料】あり
留意点 備考	なし

成績評価	各学期に4回小テストを実施。期末試験70%+小テスト30%で評価する。
------	-------------------------------------

授業計画【内容・目標】		
1	循環器疾患①	心臓疾患【心不全・心臓弁膜疾患】
2	循環器疾患②	心臓疾患【不整脈・その他】冠動脈疾患【狭心症・心筋梗塞】
3	循環器疾患③	動脈疾患【動脈硬化症・大動脈瘤・大動脈解離】
4	循環器疾患④	血圧異常【高血圧症・低血圧症】
5	消化管疾患①	口腔疾患【歯周病・顎関節症・その他の口腔疾患】 食道疾患【食道癌・食道炎・食道潰瘍・その他の食道疾患】
6	消化管疾患②	胃・十二指腸疾患【胃炎・胃十二指腸潰瘍・胃癌・その他の胃・十二指腸疾患】
7	消化管疾患③	腸疾患【急性腸炎・潰瘍性大腸炎・クローン病・ 過敏性腸症候群・虫垂炎・大腸癌・腸閉塞】
8	消化管疾患④	腸疾患【その他の腸疾患】 腹膜疾患【急性腹膜炎・結核性腹膜炎・癌性腹膜炎】
9	その他の領域①	一般外科【損傷概論・ショック・救急処置・心肺蘇生術】
10	その他の領域②	麻酔科【全身麻酔】 麻酔科【局所麻酔】
11	その他の領域④	精神科疾患【神経症・統合失調症・うつ病・アルコール依存症】
12	その他の領域⑤	心療内科【心身症・神経性食欲不振症・神経性過食症】
13	まとめ	これまでの授業の内容のまとめ
14	国家試験対策	これまでの授業の内容を国家試験の出題傾向をもとに復習
15	前期テスト	
16	復習・まとめ	定期試験の解答・解説・まとめ

科目名 【英】	リハビリテーション医学② Rehabilitation Medicine			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	30	単位	2
学年	3年	学期	前期	曜日	水曜日	時限	2限

担当教員	中山 伸治	実務者経験	大学病院、リハビリテーション専門病院にて急性期から慢性期の理学療法をおこない、整形外科的疾患・スポーツ障害の理学療法を専門とする
------	-------	-------	--

学習内容	各疾患の障害の特徴を把握し、リハビリテーション評価法、治療法などを習得する。
到達目標	正しい知識を有し、適切なリハビリテーションを施行できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】リハビリテーション医学 第3版 【配布資料】あり
留意点 備考	

成績評価	本試験100%
------	---------

前期 授業計画【内容・目標】		
1	脳卒中のリハビリテーション	脳卒中の評価と理学療法について
2	脊髄損傷のリハビリテーション	脊髄損傷の障害と理学療法について
3	切断のリハビリテーション	切断の評価と理学療法について
4	小児のリハビリテーション	脳性麻痺の評価と理学療法について
5	骨関節疾患のリハビリテーション①	五十肩・腰痛の評価と理学療法について
6	骨関節疾患のリハビリテーション②	変形性関節症の評価と理学療法について
7	骨関節疾患のリハビリテーション③	骨折の評価と理学療法について
8	骨関節疾患のリハビリテーション④	スポーツ障害の評価と理学療法について
9	骨関節疾患のリハビリテーション⑤	末梢神経麻痺の評価と理学療法について
10	骨関節疾患のリハビリテーション⑥	関節リウマチの評価と理学療法について
11	パーキンソン病のリハビリテーション	パーキンソン病の障害とリハビリテーション
12	呼吸器疾患のリハビリテーション	呼吸器疾患の評価と理学療法について
13	心疾患のリハビリテーション	心疾患の評価と理学療法について
14	高齢者のリハビリテーション	高齢者の特性とリハビリテーションについて
15	前期試験	
16	テストの解説・解答	

科目名 【英】	物理療法概説 Outline of Physical Therapy			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	30	単位	2
学年	3年	学期	後期	曜日	水曜日	時限	1限

担当教員	中山 伸治	実務者経験	大学病院、リハビリテーション専門病院にて急性期から慢性期の理学療法をおこない、整形外科的疾患・スポーツ障害の理学療法を専門とする
------	-------	-------	--

学習内容	物理療法は、紀元前からある痛みに対する治療法である。現在、リハビリテーション現場で行われている物理療法を紹介し、各療法の適用、方法、禁忌を学習していく。
到達目標	適切な場面で適切な物理療法がおこなえるようになる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】リハビリテーション医学 第3版 【配布資料】あり
留意点 備考	

成績評価	本試験100%
------	---------

後期 授業計画【内容・目標】		
1	温熱療法①	ホットパック、パラフィン浴の適用と方法について
2	温熱療法②	部分浴、マイクロウェーブの適用と方法について
3	牽引と水中運動 (全身浴)	牽引療法について 全身浴について
4	光線療法と超音波	適応、方法、禁忌について
5	寒冷療法	適応、方法、禁忌について
6	実習	アイシングの実技 クライオストレッチングなど
7	光線療法と電気刺激	レーザーと低周波治療の適用と方法について
8	電気刺激と浮腫除去療法	低周波治療の禁忌 浮腫のメカニズムについて
9	実習①	電気、牽引、光線療法の方法について
10	実習②	ホットパックの体験
11	国試対策小テスト ①	小テスト(リハビリテーション)
12	国試対策小テスト ②	小テスト(リハビリテーション)
13	国試対策小テスト ③	小テスト(リハビリテーション)
14	国試対策小テスト ④	小テスト(リハビリテーション)
15	後期試験	
16	後期試験の解説・ 解答	

科目名 【英】	関係法規 Legal Issues in Medicine			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	30	単位	2
学年	3年	学期	後期	曜日	2学期中：金曜日 3学期：月曜日	時限	2学期中：2限 3学期：3限

担当教員	山口 隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）
------	-------	-------	--------------------------------

学習内容	はり師・きゅう師の国家試験、開業に必要な法規を学ぶ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・はり師・きゅう師国家試験問題に対応できるようになる。 ・開業時に必要な法律が理解できるようになる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】関係法規第7版
留意点 備考	

成績評価	本試験70% 平常点30%
------	---------------

後期 授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション	法規とは？ 評価方法説明
2	はり師・きゅう師に関する法律①	免許と試験
3	はり師・きゅう師に関する法律②	免許と試験
4	はり師・きゅう師に関する法律③	施術に関する注意 施術所に関する規則
5	はり師・きゅう師に関する法律④	名称制限・広告制限・罰金・罰則
6	法と実定法	法とは何か 法の種類
7	医事法規と医療制度・医療法	病院・診療所・助産所について
8	国家試験願書下書き	願書練習
9	国家試験願書本番	願書本番
10	医療法	病院・診療所・助産所について
11	医師法 その他の医療従事者に関する法律 衛生関係法規	各医療従事者の法律 保健一般・予防衛生・環境衛生に関する法律
12	社会福祉関係法規 社会保険関係法規	福祉の7法 医療保障制度
13	後期試験	
14	国試演習①	問題演習
15	国試演習②	問題演習
16	国試演習③	問題演習

科目名 【英】	はりきゅう実技① 【中医診断治療学Ⅱ】 Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	60	単位	2
学年	3年	学期	通年	曜日	月曜日	時限	2限目

担当教員	副田 恵子	実務者経験	1999年4月～現在まで鍼灸院を開業中 鍼灸院及び往診にて鍼灸施術をおこなう
------	-------	-------	---

学習内容	実際の臨床で使う経絡経穴を使用し、手技の応用や体表観察の技術を疾患ごとに身につける。
到達目標	1、2年生で習得した手技を発展させ、臨床に生きる治療技術の習得を目標とする。

準備学習 時間外学習	各疾患の東洋医学的理解の復習
使用教材	鍼灸道具 配布プリント
留意点 備考	副教材として経絡経穴概論の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	毎授業に小テストを実施。期末試験70%+小テスト30%で評価する。
------	-----------------------------------

前期 授業計画【内容・目標】		
1	2年時の復習	2年時で学んだ手技の理解と確認。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
2	肩こり①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
3	肩こり②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
4	腰痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
5	腰痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
6	膝痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
7	膝痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
8	脱毛症①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
9	脱毛症②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
10	顔面痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
11	顔面痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
12	歯痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
13	歯痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
14	試験	試験
15	試験	試験
16	前期実技の復習	6疾患の東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につけられているかの確認。

後期 授業計画【内容・目標】		
1	腰下肢痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
2	腰下肢痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
3	膝痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
4	膝痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
5	肩こり・頸肩腕痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
6	肩こり・頸肩腕痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
7	月経異常①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
8	月経異常②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
9	食欲不振・肥満①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
10	食欲不振・肥満②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
11	不眠・疲労倦怠①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
12	不眠・疲労倦怠②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで80%の内容理解到達を目標とする。
13	後期の復習①	後期に学んだ事の復習 実技テスト練習
14	後期の復習②	後期に学んだ事の復習 実技テスト練習
15	後期実技テスト	後期実技テスト
16	まとめ	6疾患の東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につけられているかの確認。

科目名 【英】	はりきゅう実技⑫ 【臨床応用学Ⅱ】 Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	30	単位	1
学年	3年	学期	前期	曜日	金曜日	時限	2限

担当教員	川内 良典	実務者経験	病院の物療科、鍼灸院に所属した後、開業。 現在に至り、鍼灸施術をおこなう。
------	-------	-------	--

学習内容	先哲が臨床でよく使う経穴の主治、取穴、刺鍼法、施灸法を学ぶ。 古代九鍼（接触鍼、摩擦鍼）、十二刺を学ぶ。
到達目標	頻用穴を取穴し、安全に且つスムーズに刺鍼、施灸ができる。 古代九鍼、十二刺を覚え、臨床で応用できる

準備学習 時間外学習	経穴の取穴部位の学習。刺鍼練習台等で刺鍼練習、紙上施灸により基本技術を繰り返す。
使用教材	配布プリント、経絡経穴学の教科書 ディスプレイザブル鍼、小児鍼セット、審美六鍼、もぐさ、灸点紙
留意点 備考	学校で決められたこと（容姿、準備、片付けなど）を守る。 実技は危険を伴うことがあるので、私語を慎み、説明をよく聞き、慎重に行う。

成績評価	本試験100%で評価する。
------	---------------

前期 授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション、 『鍼論』より実技	授業概要、諸注意。手の経穴の取穴及び刺鍼・施灸法 手の重要穴を取穴し、安全に刺鍼、施灸ができる。
2	『鍼論』より実技	足の経穴の取穴及び刺鍼・施灸法 足の重要穴を取穴し、安全に刺鍼、施灸ができる。
3	『鍼論』より実技	胸部の取穴及び刺鍼・施灸法 内臓の部位を確認し、胸部の重要穴を取穴し、安全に刺鍼、施灸ができる。
4	『鍼論』より実技	腹部の取穴及び刺鍼・施灸法 腹部の重要穴を取穴し、安全に刺鍼、施灸ができる。
5	『鍼論』より実技	頭・顔面部・肩の取穴及び刺鍼・施灸法 頭・顔面部・肩の重要穴を取穴し、安全に刺鍼、施灸ができる。
6	『鍼論』より実技	背部の取穴及び刺鍼・施灸法 内臓の部位を確認し、背部重要穴を取穴し、安全に刺鍼、施灸ができる。
7	『鍼論』より実技	腰・臀部の取穴及び刺鍼・施灸法 内臓の部位を確認し、腰臀部の重要穴を取穴し、安全に刺鍼、施灸ができる。
8	古代九鍼	古代九鍼の概要。鍔鍼の解説、実技指導 鍔鍼の持ち方、押さえ方を把握し、臨床で使える。
9	古代九鍼	鍔鍼の解説、実技指導 鍔鍼の持ち方、摩り方を把握し、臨床で使える。
10	古代九鍼	員鍼の解説、実技指導 鍔鍼の持ち方、摩り方を把握し、臨床で使える。
11	十二刺	十二刺概要。偶刺、短刺の解説、実技指導 偶刺、短刺を臨床で応用できる。
12	十二刺	揚刺、直鍼刺、浮刺の解説、実技指導 揚刺、直鍼刺、浮刺を臨床で応用できる。
13	十二刺	恢刺、斉刺、傍鍼刺の解説、実技指導 恢刺、斉刺、傍鍼刺を臨床で応用できる。
14	試験	試験
15	試験	試験

16	まとめ	今までの実技の総まとめ 試験で気づいたことを中心に復習し、癖、間違いを正す。
----	-----	---

科目名 【英】	はりきゅう実技⑬ 【臨床応用学Ⅲ】 Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	30	単位	1
学年	3年	学期	後期	曜日	月曜日	時限	3限

担当教員	田邊 健三	実務者経験	
------	-------	-------	--

学習内容	疾患の鑑別や治療法の習熟と技量の向上を図る。
到達目標	臨床の現場を想定した実技の習得を目標とする。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】鍼灸臨床マニュアル
留意点 備考	

成績評価	本試験100%
------	---------

後期 授業計画【内容・目標】		
1	基本実技の復習	・ 刺鍼実技と人体施灸〔八分灸〕
2	マニュアル症候群	・ 症候診断および治療法と実技指導
3	肩こりの治療	・ 訴えの部位と経絡について ・ 局所治療の指導
4	顔面神経麻痺の治療	・ 中枢性と末梢性の鑑別と治療法
5	寝違えの治療	・ 概要について ・ 遠隔および局所治療法
6	肋間神経痛の治療	・ 概要について ・ 刺鍼および皮内鍼と施灸の方法
7	排便障害の治療	・ 便秘症について ・ 刺鍼と施灸の方法
8	冷え症の治療	・ 刺鍼と施灸部位について
9	隔物灸の実際	・ 隔物灸の説明 ・ 附子灸の効能
10	鍼電極通電	・ 概要とその治療法について
11	上眼瞼下垂症の治療	・ 治療法について
12	偏頭痛の治療	・ 概要とその治療法について
13	膝関節疾患の治療 ①	・ 概要とその治療法について
14	膝関節疾患の治療 ②	・ 概要とその治療法について
15	後期テスト	
16	まとめ	

科目名 【英】	総合領域③ 【国家試験対策】 Synthetic Studies			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	60	単位	4
学年	3年	学期	通年	曜日	木曜日	時限	3限

担当教員	前期：孫 杰 後期：篠塚 知恵子	実務者経験	2015年7月～2016年3月 鍼灸院に所属 鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう
------	---------------------	-------	--

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料
留意点 備考	

成績評価	
------	--

前期 授業計画【内容・目標】		
1	第2章 血液①	血液の組成と働き 血液凝固の仕組み 血液型
2	第3章 循環①	心臓血管系 構造 機能 心電図 心臓の神経支配 血管系の構造と機能 血圧 関与因子 循環の調節機構 特殊な部位の循環 リンパ系
3	第4章 呼吸①	呼吸器系の構造と機能 呼吸運動 肺機能 ガス交換 呼吸運動の調節
4	第5章 消化と吸収①	消化器系の構造と機能 口腔内消化 胃内の消化 小腸の消化 小腸の消化・吸収 大腸内の消化・吸収・排便 消化管ホルモン 肝臓の働き
5	第8章 排泄①	腎臓の構造と働き 尿細管の再吸収と分泌 クリアランス 尿の組成 尿の組成・蓄尿と排尿 腎臓による体液の調節
6	第9章 内分泌①	ホルモンの一般的特徴 各内分泌腺の働き 視床下部や下垂体ホルモン甲状腺・副甲状腺・膵臓 および副腎ホルモン 性ホルモンとその他
7	模擬試験	国家試験に準ずる試験
8	模擬試験	国家試験に準ずる試験
9	模擬試験	国家試験に準ずる試験
10	模擬試験	国家試験に準ずる試験
11	模擬試験	国家試験に準ずる試験
12	模擬試験	国家試験に準ずる試験
13	模擬試験	国家試験に準ずる試験
14	模擬試験	国家試験に準ずる試験
15	模擬試験	国家試験に準ずる試験
16	模擬試験	国家試験に準ずる試験

後期 授業計画【内容・目標】		
1	解剖学①	末梢神経系に関する問題①
2	解剖学②	末梢神経系に関する問題②
3	解剖学③ 東洋医学臨床論①	末梢神経系の疾患(上肢)に関する問題
4	解剖学④ リハビリテーション	リハビリテーションの装具に関する問題
5	解剖学⑤ 東洋医学臨床論②	腰椎椎間板ヘルニアに関する問題
6	解剖学⑥ 東洋医学臨床論③	運動器疾患に関する問題①
7	解剖学⑦ 東洋医学臨床論④	運動器疾患に関する問題②
8	解剖学⑧	運動器系に関する問題①
9	解剖学⑨	運動器系に関する問題②
10	解剖学⑩	運動器系に関する問題③
11	解剖学⑪	運動器系に関する問題④
12	解剖学⑫ 経絡経穴①	解剖学&経絡経穴①
13	解剖学⑬ 経絡経穴②	解剖学&経絡経穴②
14	解剖学⑭ 経絡経穴③	解剖学&経絡経穴③
15	解剖学⑮	関節学 総まとめ
16	解剖学⑯	骨学・筋学 総まとめ

科目名 【英】	総合領域④ 【国家試験対策】 Synthetic Studies			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	60	単位	4
学年	3年	学期	通年	曜日	木曜日	時限	2限

担当教員	真田 浩二	実務者経験	2000年4月～2002年3月 鍼灸院に所属 往診および鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう
------	-------	-------	---

学習内容	現代医学的な観点からの診察学【検査法・主な症状の診察法など】・治療学・臨床心理学を学ぶ。 鍼灸師に必要な項目のみならず、幅広く現代医学的鑑別診断による病態把握を学ぶ。
到達目標	症候から現代医学的な観点で鑑別診断ができる。臨床の場において実際に活用できるレベル、 かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学の予習が必要。臨床医学各論との関連を復習する。
使用教材	配布プリント「臨床医学総論」
留意点 備考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	
------	--

前期 授業計画【内容・目標】		
1	診断学29	全身状態の診察12【言語/皮膚・粘膜・皮下組織1】
2	診断学30	全身状態の診察13【皮膚・粘膜・皮下組織2】
3	診断学31	全身状態の診察14【皮膚・粘膜・皮下組織3】
4	診断学32	全身状態の診察15【皮膚・粘膜・皮下組織4】
5	診断学33	全身状態の診察16【皮膚・粘膜・皮下組織5】
6	診断学34	全身状態の診察17【皮膚・粘膜・皮下組織6】
7	診断学35	全身状態の診察18【皮膚・粘膜・皮下組織7】
8	診断学36	局所状態の診察1【頭頸部1】
9	診断学37	局所状態の診察2【頭頸部2】
10	診断学38	局所状態の診察3【胸部・腹部】
11	診断学39	局所状態の診察4【直腸・肛門・外性器・背部】
12	診断学40	局所状態の診察5【四肢】
13	診断学41	そのほかの診察【関節可動域・救急時・女性・小児・高齢者】 臨床検査1【概要・尿検査1】
14	診断学42	臨床検査2【尿検査2・糞便検査・血液検査】
15	試験	前期試験
16	試験解答・解説	試験の解答および解説

後期 授業計画【内容・目標】		
1	診断学43	臨床検査3【血液生化学検査】
2	診断学44	臨床検査4【免疫学的検査・自己抗体検査・喀痰検査・髄液検査・関節液検査】
3	診断学45	生命徴候の診察1【体温】
4	診断学46	生命徴候の診察2【脈拍】
5	診断学47	生命徴候の診察3【血圧1】
6	診断学48	生命徴候の診察4【血圧2】
7	診断学49	生命徴候の診察5【呼吸】
8	診断学50	身体計測・神経系の診察1【感覚系の診察1】
9	診断学51	神経系の診察2【感覚系の診察2】
10	診断学52	神経系の診察3【反射の診察】
11	診断学53	神経系の診察4【脳神経系の診察1】
12	診断学54	神経系の診察4【脳神経系の診察2・髄膜刺激症状の診察1】
13	診断学55	神経系の診察5【運動機能の診察2】
14	診断学56	神経系の診察6【運動機能の診察2】
15	診断学57	神経系の診察7【運動機能の診察3】
16	治療学 臨床心理	治療学 臨床心理

科目名 【英】	総合領域⑤ 【国家試験対策】 Synthetic Studies			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	60	単位	4
学年	3年	学期	通年	曜日	前期：木曜・月曜 後期：月曜・金曜	時限	前期：1限 後期：1.3限

担当教員	山口 隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）
------	-------	-------	--------------------------------

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料
留意点 備考	

成績評価	
------	--

前期 授業計画【内容・目標】		
1	肝臓・胆のう・膵臓	解剖・生理
2	肝臓・胆のう・膵臓	疾患
3	腎臓・泌尿器	解剖・生理
4	腎臓・泌尿器	生理・疾患
5	腎臓・泌尿器	疾患
6	消化器	解剖・生理
7	消化器	生理・疾患
8	消化器	疾患
9	膠原病	典型6疾患
10	膠原病	その他
11	生殖器	男性生殖器
12	生殖器	女性生殖器
13	婦人科疾患	子宮頸癌～子宮内膜症
14	眼科疾患	解剖・疾患
15	試験	
16	解説	試験の解答および解説

後期 授業計画【内容・目標】		
1	内分泌	解剖・生理
2	内分泌	生理
3	内分泌	疾患
4	呼吸器疾患	閉塞性呼吸器疾患
5	呼吸器疾患	拘束性呼吸器疾患
6	病理学	総まとめ
7	病理学	総まとめ
8	病理学	総まとめ
9	血液疾患	貧血
10	血液疾患	白血病・紫斑病・血友病
11	生理学	総まとめ
12	生理学	総まとめ
13	臨床医学各論	総まとめ
14	臨床医学各論	総まとめ
15	試験	
16	まとめ	試験の解答および解説

科目名 【英】	総合領域⑥ 【国家試験対策】 Synthetic Studies			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	60	単 位	4
学 年	3年	学 期	通年	曜 日	前期：月曜・木曜 後期：木曜	時 限	前期：1限 後期：1限

担当教員	松本 菜	実務者経験	2013年3月～2014年9月 鍼灸整骨院に所属 鍼灸治療を担当
------	------	-------	-------------------------------------

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料
留意点 備 考	

成績評価	
------	--

前期 授業計画【内容・目標】		
1	東洋医学臨床論	国家試験対策①
2	東洋医学臨床論	国家試験対策②
3	東洋医学臨床論	国家試験対策③
4	東洋医学臨床論	国家試験対策④
5	東洋医学臨床論	国家試験対策⑤
6	東洋医学臨床論	国家試験対策⑥
7	東洋医学臨床論	国家試験対策⑦
8	東洋医学臨床論	国家試験対策⑧
9	東洋医学臨床論	国家試験対策⑨
10	東洋医学臨床論	国家試験対策⑩
11	東洋医学臨床論	国家試験対策⑪
12	東洋医学臨床論	国家試験対策⑫
13	東洋医学臨床論	国家試験対策⑬
14	東洋医学臨床論	国家試験対策⑭
15	前期試験	
16	試験解説 総復習	

後期 授業計画【内容・目標】		
1	国家試験対策①	衛生学・公衆衛生学
2	国家試験対策②	解剖学
3	国家試験対策③	解剖学
4	国家試験対策④	生理学
5	国家試験対策⑤	生理学
6	国家試験対策⑥	病理学
7	国家試験対策⑦	臨床医学総論
8	国家試験対策⑧	臨床医学各論
9	国家試験対策⑨	臨床医学各論
10	国家試験対策⑩	臨床医学各論
11	国家試験対策⑪	東洋医学概論
12	国家試験対策⑫	東洋医学臨床論
13	国家試験対策⑬	経絡経穴学概論
14	国家試験対策⑭	はりきゅう理論
15	模擬試験	国家試験に準ずる試験
16	模擬試験	国家試験に準ずる試験

科目名 【英】	総合領域⑦ 【国家試験対策】 Synthetic Studies			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	60	単位	4
学年	3年	学期	通年	曜日	前期：水曜 後期：水曜	時限	前期：3限 後期：2限

担当教員	前期：林 眞早 後期：後藤 卓	実務者経験
------	--------------------	-------

学習内容	経絡経穴概論・東洋医学概論の復習（暗記・記入・四択問題を行う）
到達目標	経絡経穴概論・東洋医学概論の国家試験対策をおこない、国家試験合格水準まで学力を向上させる。

準備学習 時間外学習	1～2年で暗記したところの確認
使用教材	教科書『経絡経穴学概論』・『東洋医学概論』（東洋療法学校協会）
留意点 備考	副教材として解剖学の教科書や骨筋に関する参考書があれば持参するように。

成績評価	小テスト（10点）を3回実施。期末試験70%＋小テスト30%で評価する。
------	--------------------------------------

前期 授業計画【内容・目標】		
1	経絡経穴概論 東洋医学概論	五行穴などの十二正経の要穴の復習 五行色体表の復習
2	経絡経穴概論 東洋医学概論	督脈の取穴部位 気・血・津液の復習
3	経絡経穴概論 東洋医学概論	任脈の取穴部位 五臓の復習
4	経絡経穴概論 東洋医学概論	肺経・大腸経の取穴部位 六腑の復習
5	経絡経穴概論 東洋医学概論	胃経の取穴部位 奇恒の腑の復習
6	経絡経穴概論 東洋医学概論	脾経・心経の取穴部位 病因（外因・内因・不内外因）の復習
7	経絡経穴概論 東洋医学概論	小腸経の取穴部位 八綱病証と気血津液病証
8	経絡経穴概論 東洋医学概論	膀胱経の取穴部位（睛明～会陽）
9	経絡経穴概論 東洋医学概論	膀胱経の取穴部位（承扶～至陰）
10	経絡経穴概論 東洋医学概論	腎経の取穴部位 経絡病証と六経病証
11	経絡経穴概論 東洋医学概論	心包経・三焦経の取穴部位 四診（望診）
12	経絡経穴概論 東洋医学概論	胆経の取穴部位 四診（聞診・問診）
13	経絡経穴概論 東洋医学概論	肝経の取穴部位 奇経八脈 四診（切診）
14	東洋医学概論	東洋医学の治療法
15	試験	

16	総復習	試験の解答・解説 まとめの授業
後期 授業計画【内容・目標】		
1	消化器系の解剖生理学	口腔・咽頭・食道の解剖生理学
2	消化器系の解剖生理学	胃・小腸・大腸の解剖生理学
3	消化器系の解剖生理学	肝臓・胆嚢・膵臓の解剖生理学
4	消化器系疾患1	口腔疾患・食道疾患
5	消化器系疾患2	胃・十二指腸疾患
6	消化器系疾患3	腸疾患
7	肝・胆・膵疾患	肝臓疾患・胆道疾患・膵臓疾患
8	麻酔科1	全身麻酔の種類と方法・特徴
9	麻酔科2	脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔・表面麻酔・浸潤麻酔
10	麻酔科3	伝達麻酔（神経ブロック）
11	一般外科1	熱傷・凍傷と凍瘡・ショック
12	一般外科2	救急処置・心肺蘇生術
13	はりきゅう理論	毫鍼の各部の名称・鍼の太さと長さの基準・鍼先の形状と特徴・ 鍼の材質と特徴・鍼管の材質と特徴・古代九鍼
14	はりきゅう理論	刺鍼の方式・刺鍼の術式・刺鍼中の手技・特殊鍼法・灸法の種類
15	はりきゅう理論	鍼灸の治効理論
16	はりきゅう理論	鍼灸の治効理論・関連学説

科目名 【英】	総合領域⑧ 【リハビリテーション実技】 Synthetic Studies			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	30	単位	1
学年	3年	学期	前期	曜日	水曜日	時限	1限

担当教員	中山 伸治	実務者経験	大学病院、リハビリテーション専門病院にて急性期から慢性期の理学療法をおこない、整形外科的疾患・スポーツ障害の理学療法を専門とする
------	-------	-------	--

学習内容	リハビリテーション医学で学んだ疾患別リハビリテーションを実践するために、実技を通じて必要な評価法と治療法の知識と技術を学んでいく。
到達目標	適切なリハビリテーションを指導できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【配布資料】あり
留意点 備考	

成績評価	本試験100%
------	---------

前期 授業計画【内容・目標】		
1	障害の評価①	周径の測定と関節可動域テストの実技
2	障害の評価②	徒手筋力テストの実技
3	トランスファー実技	体位変換、車椅子への移動介助の実技
4	体性機能不全について	体性機能不全とは？
5	姿勢について	姿勢の評価実技
6	ストレッチングの実技	ストレッチングの理論と実技
7	筋力トレーニング	筋力トレーニングの実技
8	関節機能不全に対するアプローチ	関節への徒手的アプローチの実技
9	腰痛に対するリハビリテーション	腰痛の評価と治療の実技
10	膝の障害に対するリハビリテーション	膝関節障害の評価と治療について
11	痛みに対する徒手的治療	痛みに対する徒手的治療の実技
12	国試対策小テスト①	リハビリテーション医学のまとめ問題
13	国試対策小テスト②	リハビリテーション医学のまとめ問題
14	国試対策小テスト③	リハビリテーション医学のまとめ問題
15	前期試験	
16	前期試験の解説・解答	